

授業科目 運動学

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	理学・作業
江 原 義 弘、久 保 雅 義		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【概要・一般目標：G10】 この科目では「動作分析」と「運動制御・学習」について学習する。 身体運動を力学的に捉える方法を学習する。また、セラピストとしての治療計画の立案、実施および評価のための基礎となる運動学習および運動制御について学習する。心理学、生理学および工学などのさまざまな分野から新しい運動の獲得に必要な要素を概説する。さらに、「運動」から様々な環境下での「行動や行為」の発現に焦点をあて、最後に「脳の可塑性とリハビリテーション」に関する最近の研究を紹介する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 力学の基礎事項 2. 動作分析を通して分析結果を他人にわかりやすく説明できる 3. 歩行などの基本的身体運動を説明できる 4. 運動学習の理論的背景を説明できる 5. 運動学習の効果に影響を与える条件について説明できる 6. 運動学習／制御について説明できる 7. 運動の「協調」について説明できる 8. 運動の「ばらつき」について説明できる 9. 知覚と行動の結びつきについて説明できる 10. 脳の可塑性とそのリハビリテーションに対する意味を説明できる					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	力学の復習			1	江原 / 講義
2	運動学・バイオメカニクスの基礎			2・3	江原 / 講義
3	スクワット動作の分析			2・4	江原 / 講義
4	椅子からの立ち上がりの分析			2・5	江原 / 講義
5	ジャンプ動作の分析			2・6	江原 / 講義
6	歩き出しの分析			2・7	江原 / 講義
7	歩行の分析			2・8	江原 / 講義
8	運動学習の理論的背景			4	久保 / 講義
9	運動学習の条件			5	久保 / 講義
10	運動学習と小脳			6・7	久保 / 講義
11	協調運動の成り立ち			7	久保 / 講義
12	運動のバラツキ			8	久保 / 講義
13	パーセプション・アクションカップリング			9	久保 / 講義
14	脳の可塑性とリハビリテーション			10	久保 / 講義
15	予備日				久保 / 講義
【使用図書】		<書名>		<著者名>	<発行所> <発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書	セラピストのための運動学習ABC			文光堂	7,350円
	運動学習とパフォーマンス-理論から実践へ			大修館書店	4,800円
	モーターコントロール-運動制御の理論と臨床応用			医歯薬出版	8,600円
	ボディダイナミクス入門1、2			医歯薬出版	
その他の資料					
【評価方法】		【履修上の留意点】			
授業態度、課題、小テスト、試験結果などを併せて総合的に評価する。					